

独自

官邸も新聞社も…偽サイトが大量に出現 誰が何のために

有料会員限定記事

編集委員・須藤龍也 2020年5月13日 18時59分



神戸市の偽サイトの画面。見た目は本物と同じで、違いがわからない



いるようだ」

市の担当者は13日、海外のアドレス登録事業者に申し立て、アクセスを無効にする手続きを進めている。「新型コロナ対策の特別定額給付金など様々な行政手続きの案内画面が改ざんされるなどして、個人情報盗まれる恐れもある。一刻も早くサイトを閉鎖に追い込みたい」

市ではサイトのアドレスをよく確認するよう呼びかけている。市の公式は「www.city.kobe.lg.jp」。対して偽サイトは「〇〇〇〇〇.tk」だ。

実は今、アドレス末尾が「.tk」「.ga」「.gq」「.ml」からなる偽サイトが大量に存在している。

首相官邸や国立国会図書館といった行政機関、地方自治体、全国紙や地方紙、テレビ局といったマスメディア、大型商業施設や大学、病院……。日本国内だけでなく、海外のサイトも多い。

首相官邸など省庁や自治体、民間企業のホームページをまねた「偽サイト」が大量に見つかり、インターネット接続事業者やセキュリティ会社に対応に迫られていることがわかった。専門家の調べで、少なくとも1千以上のサイトが見つかった。偽サイトの目的は不明だが、個人情報や金銭をだまし取る目的で作られた途中経過だった可能性がある。

神戸市は12日、「神戸市ホームページの偽サイトにご注意ください」（<http://www.city.kobe.lg.jp/a57337/shise/press/948044342589.html>）という警告を公式サイトに掲載した。偽サイトのつくりは本物のサイトとうり二つ。本物が更新されると偽物も少し遅れて同じ内容に切り替わる。

「本物のデータをその都度コピーして

情報セキュリティー企業マクニカネットワークス（横浜市）の政本憲蔵さんの調査では、少なくとも1千以上の偽サイトが確認されているという。

アドレス、オランダの事業者名で登録

偽サイトといえば、通販大手アマゾンや楽天を模したものや、eコマースサイトを装って定価の半値以下の商品画像を並べ、登録してしまった客の個人情報やクレジットカード情報を盗み取る金銭目的のことが多い。

ところが今回の偽サイトは、本物のサイトから情報を逐一抜き取り、偽サイトに同じ内容を表示するような仕組みしか備わっていない。

偽サイト製作者の意図は分かっていない。

神戸市の偽サイトへの注意を呼びかける記事が、地元紙・神戸新聞社の偽サイトに表示される、といったケースまで起きている。

政本さんは「一体何のためにやっているのかさっぱりわからない」と首をかしげる。「まずは本物とうり二つのサイトをつくり、ゆくゆくはウイルスを埋め込むといったサイバー攻撃の準備段階だったのかもしれない」

政本さんによると、今回の偽サイトを見分けるポイントは、アドレス名の末尾だ。「.tk」「.ga」「.gq」「.ml」といった普段見かけない表記であれば、注意する必要があるという。

「tk」は南太平洋のニュージーランド領トケラウ、「ga」はアフリカのガボンといった国や地域を指す。小さな国や地域のアドレスを無料で提供する業者があり、今回の偽サイトについて確認すると、オランダのアドレス登録代行事業者の名前で登録されているという。

現在、インターネット接続事業者やセキュリティー会社が、サイトを運営する行政機関や事業者の訴えを受けて、サイト閉鎖やアクセス遮断に関する手続きなど対応に追われている。（編集委員・須藤龍也）

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.